

11/21

石川県立工業高等学校 講演会



業界の仕事、やりがい伝える

県立工業高で管工事業説明会

石川県管工事業協組連



県立工業高で行われた管工事業説明会＝金沢

石川県管工事業協組連 長は21日、管工事業界合連合会（北川雅一朗会）の担い手の確保に向けた取り組みの一環として、金沢市本多町の県立工業高校を訪れ、業界の仕事内容や、やりがいなどを生徒に伝える説明会を開催した。高校生の就職に対する不安や疑問点などの解消を図り、管工事業界への理解を深めてもらうもので、今年は県立羽咋工業高校を皮切りに今回が2校目。

この日は、同高校一年生約300人が説明会に参加。冒頭、居村吉記校長が講師紹介した後、一きようは管工事業界の方々から直接話を聞ける貴重な機会であり、能登半島地震の復旧工事を中心にふるさと教育という石川県の高校生が特に知

ってほしいという話をされるのでぜひ聞いてほしい」と述べた。続いて講演に移り、同連合会の鈴木啓泰理事が講師となり、空調衛生設備工事における説明動画を放映した後、管工事業の基本的な仕事の流れや内容などについて説明するとともに、能登半島地震で被害を受けた県立門前高校と奥能登土木総合事務所のトイレの給排水配管と総合事務所の空調設備の応急復旧活動について詳しく紹介。ライフラインを守るといふ業界の重要な役割や使命を生徒たちに伝え、「皆さんの中から

に、能登半島地震で被害を受けた県立門前高校と奥能登土木総合事務所のトイレの給排水配管と総合事務所の空調設備の応急復旧活動について詳しく紹介。ライフラインを守るといふ業界の重要な役割や使命を生徒たちに伝え、「皆さんの中から

能登復興のために石川県に残ってやってみよう、将来の進路の一つとして候補の中に入れてみたいというきっかけになってほしい」と語り、将来の業界の担い手の確保に期待を込めた。

この後、同高出身で鈴木啓泰理事の若林倫宏（木管工業社員）が同行した。

説明会には中川康昭理事、県管工事業協組連青年部会の内堀貴史部長らが同行した。